

電子出版制作会社

を探る

23

「持つ人材が豊富にいます」

智博デジタルコンテンツ制作チーム技術主任。自身もDTPでの制作に多くの経験を持ち、現在は、適所に人材を配置する業務を行っている。

稼働実績は関西支社を合わせると月延べ1000人。震災の影響で昨年10月から旅行会社のパンフレットやカードゲームのイラスト制作や、デジタル系では、スマホのアプリ制作などの案件が増えているという。

「電子出版コンテンツの販売サイトは、目標に掲げるコンテンツ数を達成するための作業が必要になるが、既刊コンテンツは売り上げに貢献する可能性が低いいため、電子化コストを極力抑制するのが課題。同社は出版社との接触でこうした需要を導き出した。」

「過去のコンテンツは元データの制作方法もまちまちで、電子化の際、不用意な改行や10年以上前の書体への対処など、校正作業に手間が掛かります。当社はインデザインを使ってEPUB、XMD、ドットブックと、最近主流のデータフォーマットに対応すると同時に、クォーク3・3や4・1など、十数年前主流だったソフトにも対応できるので、古いコンテンツの電子化にも問題なく対処できます」という。

鈴木主任は、電子化に向けて社内制作体制が整っていない中小出版社、印刷会社への人材提供を広くアピールする。

問い合わせは同社（電話03・3561・0336）まで。

（武田信）

多くの人材派遣会社がDTPオペレータや、デザイナーの人材を揃え、印刷会社などに提供しているが、今回紹介するエキスパートスタッフ（東京・中央区）は創業から25年、DTP制作中心に展開している人材派遣会社。現在は電子出版コンテンツやウェブ制作の経験がある人材を大手印刷会社を中心に提供している。

電子化、校正に潜在需要 経験豊富な人材で対応

エキスパートスタッフ

「EPUB3の普及が電子出版事業拡大のポイント」と鈴木デジタルコンテンツ制作チーム技術主任

らの依頼が中心だが、最近では出版社に対しても直接営業活動を実施。教科書系の出版社に制作ディレクターも送り込んでいる。

「当社の最大の特徴は、依頼日当日に人材を配置できること。顧客は納期を抱えており、繁忙期などは社員だけで対処できなくなるケースも多く、『今夜だけでも人材が欲しい』という依頼を受けることもあります」というのは、鈴木

「校正に必要なスキルは、流通系のチラシ、出版物とは異なります。当社の人材はこうしたスキル別に分けており、将来的に社員として同様の職種に就くことを目標にしている人や、フリーランスの人など、派遣先の仕事に興味を

